

アフターサービスについて

◆修理を依頼される時

お求めの取扱店、または弊社サービス課に修理を依頼してください。

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

- 修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番（取扱説明書に表示）
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問日

◆部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製品本体の製造打ち切り後、最低10年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

◆修理の依頼・お問い合わせは

グローエジャパン株式会社サービス課

03-3298-9683 受付時間 平日9:30~17:30（受付・お問い合わせ）
平日夜間・土・日・祝日24時間（受付のみ）

§ 保証書 §

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。下記の保証期間内に故障が生じた場合は、本書をご提示の上、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※取り付け日・取扱店の欄に記載の無い場合は、無効になります。

無料修理規定（保証規定）

1. 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書きに従った正常な使用・維持管理状態で保証期間内に故障した場合、無償修理致します。
2. 無償修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご移居・ご贈答品などで、本書を記載の取扱店に修理をご依頼できない場合、当社サービス課にご相談ください。
4. 保証期間内でも以下の場合、有償修理とさせていただきます。
 - (1) 使用・維持保管上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷
 - (2) 温泉水・中水・飲用不可な井戸水利用による故障および損傷
 - (3) お買い求め後の取付場所の移動およびそれに伴う落下などによる故障および損傷
 - (4) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧など、その他の事故および損傷の原因が商品以外にある場合
 - (5) 消耗部品の劣化に伴う故障の損傷
 - (6) 本書の提示がない場合
 - (7) 本書に取付日・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

保証期間	: 取付日より2年	取扱店（店名・住所・TEL）
取付日	: 年 月 日	

グローエジャパン株式会社

本社 〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 東京流通センタービル
TEL 03-3298-9683 FAX 03-3767-3811
大阪営業所 〒550-0014 大阪市西区北堀江1-5-2 四ツ橋新興産ビル
TEL 06-6533-3015 FAX 06-6533-3460

GROHE JAPAN ホームページ
<http://www.grohe.co.jp>

シングルレバーキッチン混合栓取扱説明書 (お客様用)

機種名	一般地用品番	寒冷地用品番
ユーロプラス	33972000	33973000
ユーロディスク	32258001	3225800C
エッセンス	32235000	3223500C
アリラ	32998SDJ	32998SDC

据付業者さまへのお願い

この取扱説明書は、貴店名ならびに取付日を
保証書にご記入の上、お客様にお渡しください。


- このたびは、**GROHE** 製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は保証書付ですのでお読みになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

もくじ





安全上のご注意	1
特長	3
各部の名称	3
ご使用前に	3
ご使用方法	4
ご使用上の注意	5
寒冷地にて使用する場合	6
お手入れの方法	7
故障かな?と思ったら(修理を依頼される前に)	8
アフターサービスについて	9
保証書	9

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
この説明書では、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この指示を無視して、誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
また下に示す記号は説明書や製品に表示してお客様に安全に正しく製品をお使いいただくようにしたものです。内容をよく理解して正しくお使いください。

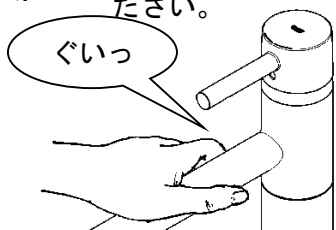
 この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。	 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
 この絵表示は、「接触禁止」の内容です。	 この絵表示は、「分解禁止」の内容です。

⚠️ 注意



禁止

器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。

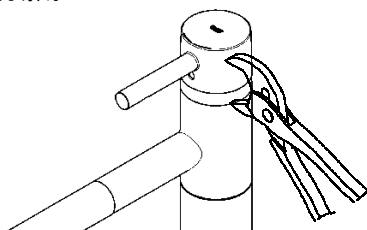


器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



分解禁止

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。



器具が破損し、やけど、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



接触禁止

高温の湯をお使いのときにはホースは高温になっています。直接肌を触れないでください。

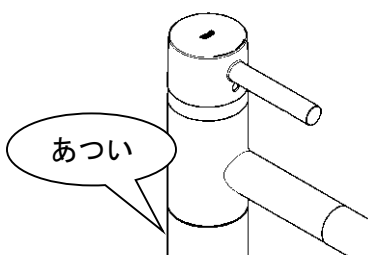


やけどするおそれがあります。



接触禁止

器具の左側は給湯側のため高温になっています。直接肌を触れないでください。

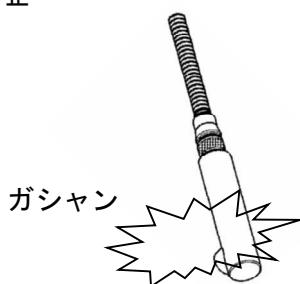


やけどするおそれがあります。



禁止

ハンドスプレーの取扱いには充分ご注意ください。



落としたり、ぶついたりすると破損の原因になります。



禁止

ハンドスプレーへは熱湯（60℃以上）を通さないでください。



破損、変形、変色の原因になります。

◆ストレーナの清掃 (ユーロラ、ユーロイカ、アリ)

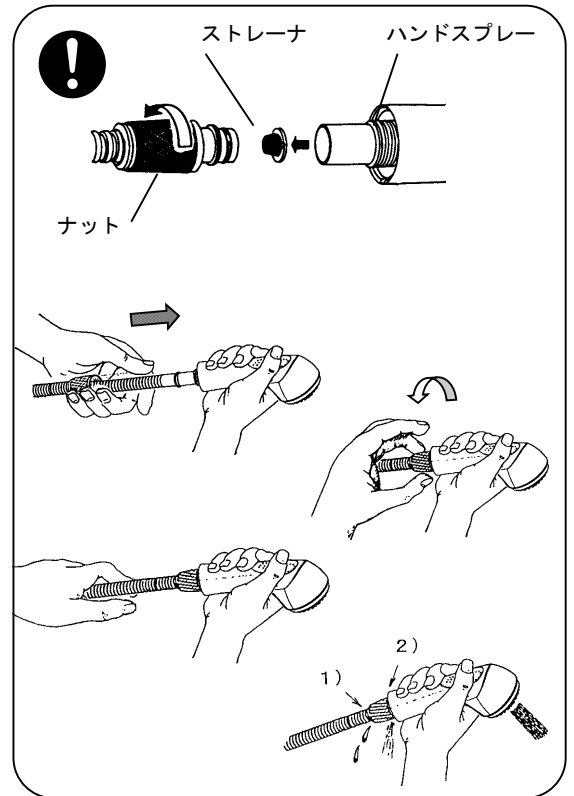
切換弁のゴミ詰りを軽減させるため、ストレーナが付属しております。吐水量が少ないと感じましたら、次の要領で清掃してください。

- ① レバーハンドルを止水状態にしてください。
- ② ハンドスプレーを引き出し、ホースナットを手で左に回して外してください。
- ③ ハンドスプレーの中のストレーナを取り出し、清掃してください。
- ④ ストレーナを元に戻し、ホース先端のリングがハンドスプレーにきちんと入るまで差し込みます。
- ⑤ ホースナットを手で右に回し、完全に止まるまで締め付けてください。
- ⑥ ホースナットがホースの根元に最後まで入っていること、ホースがホース根元で遊びが無く完全に固定されていること、ハンドスプレーを引き出したまま、開閉レバーを開栓し、接続部分から水漏れが無いことを確認してください。

※ストレーナが取り出しにくい場合は、楊枝等で網を破らいようこじり、外してください。

※締付が十分でありませんと、ご使用中に水漏れの原因となりますので注意してください。

※水漏れがあった場合、1)、2)にゆるみが無いか確認し、再度上記の通り組み立ててください。



故障かな?と思ったら (修理を依頼される前に)

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
● 吐水量が少ない (少なくなってきた)	① 配管内のゴミが整流器にたまってきた。 ② 配管内のゴミがストレーナにたまってきた。 ③ 給湯器の温度設定が不適切である。	(1) ハンドスプレー先端の整流器(エアレータ)にゴミ詰りが無いか確認してください。 ※P7「エアレータの清掃」をご参照ください。 (2) ハンドスプレー根元のストレーナにゴミ詰りが無いか確認してください。 ※P8「ストレーナの清掃」をご参照ください。 (3) ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください。
● 適温の温度調節がスムーズに出来ない	④ 配管内のゴミが口金にたまってきた。 ⑤ 給湯器から十分なお湯がきていない。 ⑥ 水または、湯のいずれかの圧力(勢い)が強過ぎる。	(4) 上記同様、整流器にゴミ詰りが無いか確認してください。 (5) 給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。 (6) 湯側・水側とも吐水量が同等であることを確認してください。 ※以下の方法で調整してください。 1. レバーハンドルを湯側いっぱい位置に合わせて吐出し、湯側の止水栓で適量に調整します。 2. 水側いっぱい位置に合わせて、湯側いっぱい位置の吐水量と同じか、または1.5倍位になるように、水側の止水栓を調整します。
● 水の量が多すぎて使いづらい ● 使用時に高い音がする	⑦ 水の圧力(勢い)が強過ぎる。	(7) 上記と同様の方法で止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。
● 完全に止水できない	⑧ 内部カートリッジにゴミが付着、または破損している。	(8) 販売店、据付業者、または弊社サービス課に連絡してカートリッジを洗浄、または交換する。
● 吐水口の動きが重い、ホースが引き出せない	⑨ ホースが取付穴に接触している。	(9) 販売店、据付業者に連絡して本体の固定をホースが接触しないよう、きちんと施工してもらう。
● 短期間に水受容器に水が溜まる	⑩ ホース、カップリング、等の破損。 ⑪ ホース接続部のゆるみ。	(10) 販売店、据付業者、または弊社サービス課に連絡してホース、カップリングを交換する。 (11) ホース接続部を締め直す。

※上記処置で故障が直らない場合は、販売店、据付業者、または弊社サービス課へご相談ください。

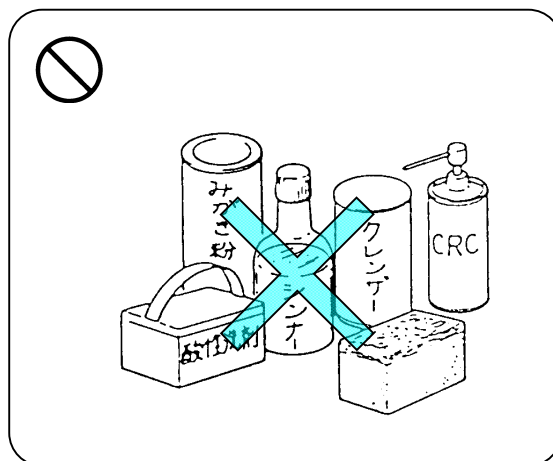
※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

お手入れの方法

◆汚れた場合は

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 表面が汚れたら、柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、適当に薄めた中性洗剤をふくませた布で、ふきとってください。そのあと水でぬらした柔らかい布をよく絞って、洗剤をふきとり、最後に柔らかい布でからぶきしてください。
- お手入れの際は、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤・塩素系洗剤・シンナー・ベンジン及びナイロンタワシなどは、器具の表面を傷つけたり、侵したりしますので使用しないでください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分に洗い流してください。

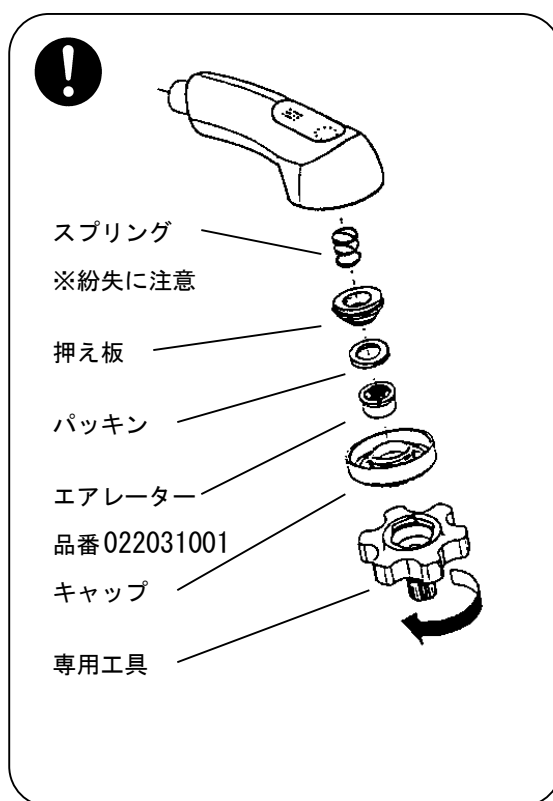


◆エアレーターの清掃

整流器（エアレーター）のゴミ詰りは機能を低下させます。ときどき次の要領で清掃してください。

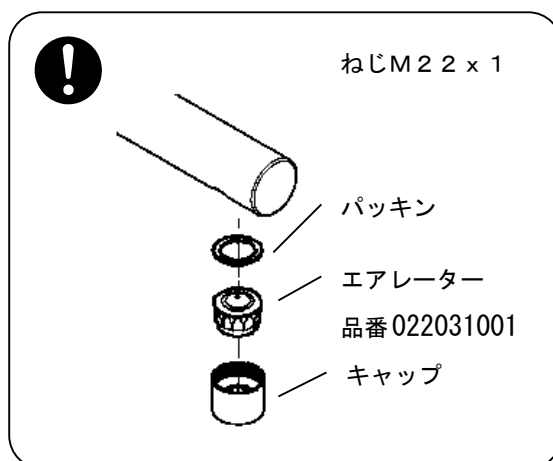
ユーロプラス、ユーロディスク、アリラ

- ① レバーハンドルを止水状態にしてください。
- ② 整流器（エアレーター）のキャップを別売の専用工具を使用し、ゆるめてください。
- ③ 整流器（エアレーター）のゴミを取り除いてください。
※別売の専用工具（01616031）または 24 mm スパナを使用し、確実に締め付けてください。
※新品時にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。
※ハンドスプレー内部に砂等が入る場合もありますので、押え板、スプリングを抜き取り、切換ボタンを押しながら通水させ、内部のゴミ等を洗い流してください。
※切换到必要な上記スプリングを紛失しないよう注意してください。



エッセンス

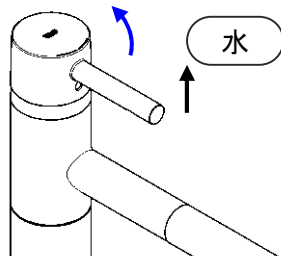
- ① レバーハンドルを止水状態にしてください。
- ② 整流器（エアレーター）のキャップを手で、ゆるめてください。
- ③ 整流器（エアレーター）のゴミを取り除いてください。
※ゴム手袋などを使用して確実に締め付けてください。
※新品時にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。



⚠️ 注意



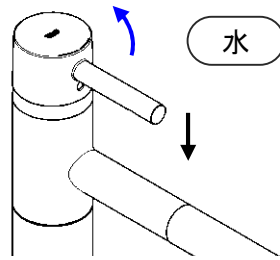
お湯をお使いになる
ときは、必ずレバーハン
ドルを水側から開
栓してください。



湯側から開栓すると高温の湯
が出てやけどするおそれがあり
ます。



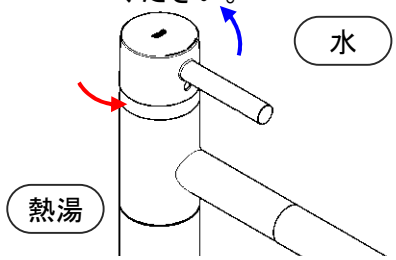
お湯を止めるときは、
必ずレバーハンドル
を水側にしてから閉
めて下さい。



次に使用する時、器具内に滞
留した高温の湯が出て、やけ
どするおそれがあります。



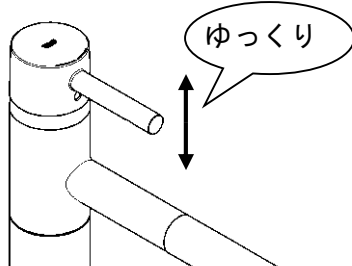
高温の湯をお使いの
後は、器具内に高温
の湯が残らないよう
に、しばらく水を流
してください。



次に使用する時、器具内に滞
留した高温の湯が出て、やけ
どするおそれがあります。



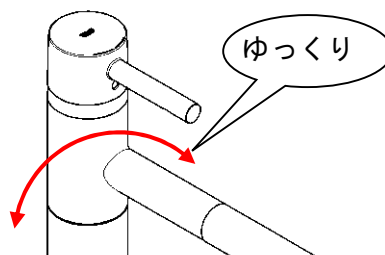
レバー操作の急停止
は、配管からの漏水
を起こすことがあり
ますので、ゆっくり
操作してください。



漏水で家財などを濡らす財産
損害発生のおそれがあり
ます。



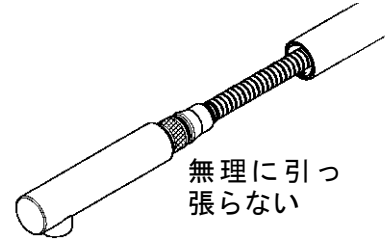
首振り操作を乱暴に
扱うと故障や事故を
起こすことがあり
ますので、ゆっくり
操作してください。



故障・事故で家財などを破損
し財産損害発生のおそれ
があります。



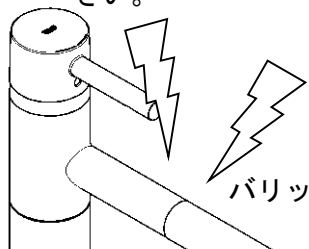
ホースを乱暴に扱
うと破損や事故を起
こすことがあり
ますので、余裕を持
たせてお使いい
ください。



破損・事故で家財などを破損
し財産損害発生のおそれ
があります。



凍結が予想される際
は、水抜き方法に従
って配管の水抜き操
作と水栓金具の水抜
き操作を行なって
ください。



凍結破損で漏水し、家財な
どを濡らす財産損害
発生のおそれあり
ます。



禁止

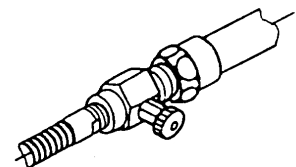
他所との同時使用に
より圧力変動が起
こり、お湯の使用
中に湯温が急上昇
する事があり
ます。

やけどするおそれあり
ます。



禁止

水抜き栓は水抜き
以外の目的で開
けないで
ください。
(寒冷地仕様)



水抜き栓をいきなり開
けますと高温の湯
が出てやけどをし
たり、湯水が吹き
出して家財な
どを濡らす財産
損害発生のお
それあり
ます。

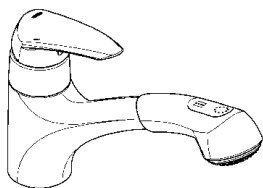
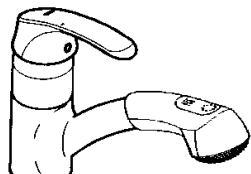
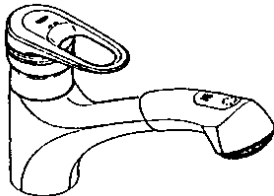
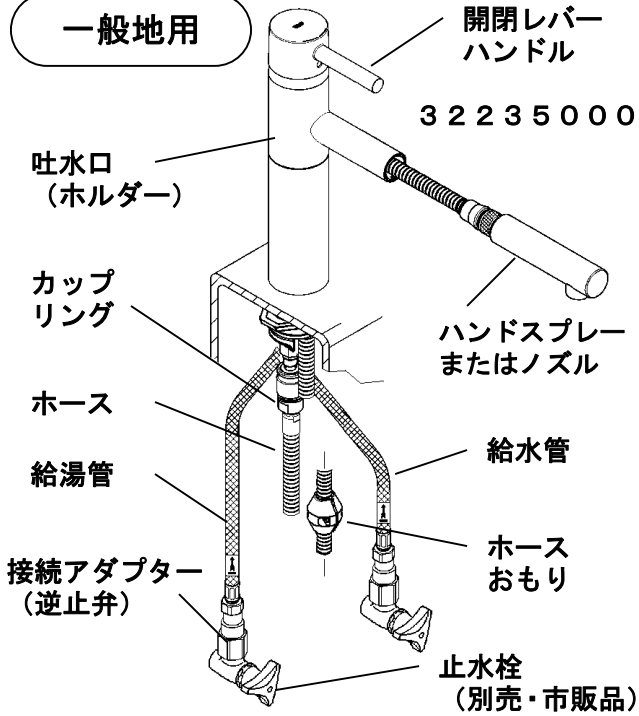
特 長

- レバーハンドルひとつで、吐水量と吐水温度を簡単に調節でき、節水効果があります。
- バルブはセラミックを使用し、優れた耐久性があります。
- 吐水→スプレーの切換がワンタッチでできます。閉栓すると自動的に吐水にもどります。
(32235000、3223500Cは、機能なし)
- ハンドスプレー、ノズルは納めたままでも、引き出しても使用できますので、皿洗い、シンク洗いに便利です。

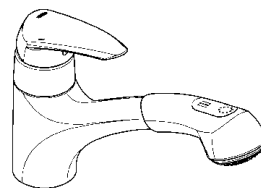
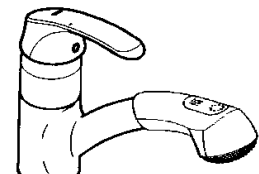
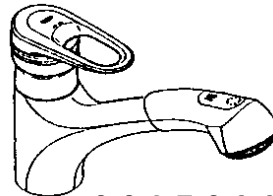
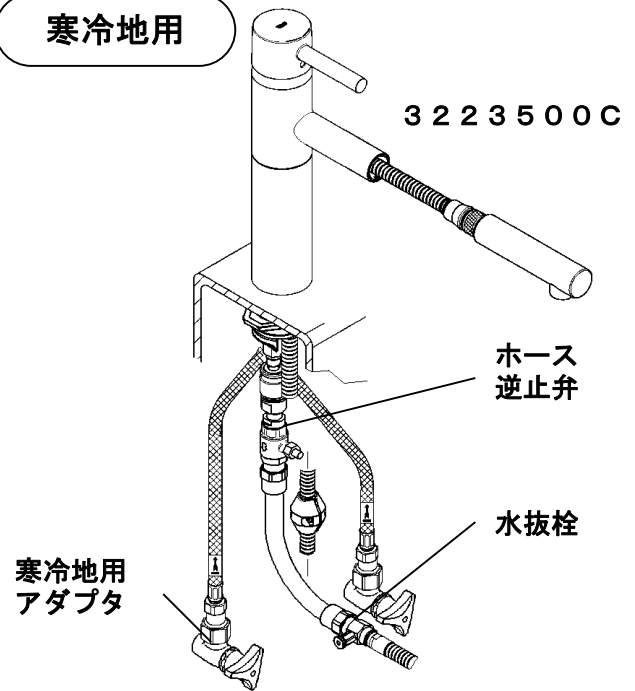
各部の名称

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

一般地用



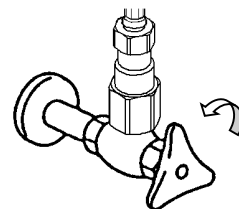
寒冷地用



ご使用前に

- キャビネットの中に設置されております、止水栓が開いているか確認してください。閉まっている時はハンドルを左に回し、開けてください。

※図はアングル型止水栓で記載されておりますが、縦型止水栓についても同様です。



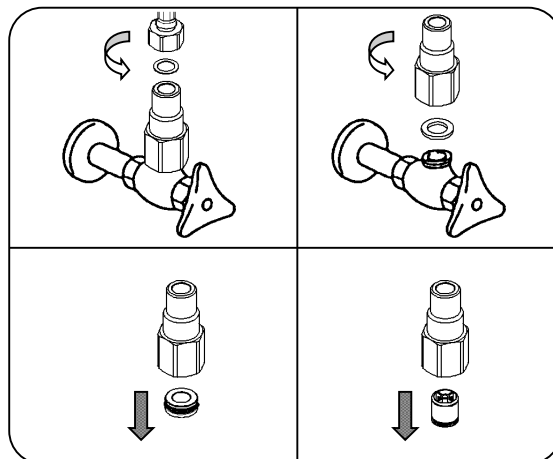
寒冷地にて使用する場合

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1. 逆止弁の取り外し（寒冷地用は付属していません）

- ①給水・給湯管を接続アダプターから取り外してください。
- ②止水栓から接続アダプターを取り外してください。
- ③接続アダプター内部の逆止弁を取り外してください。

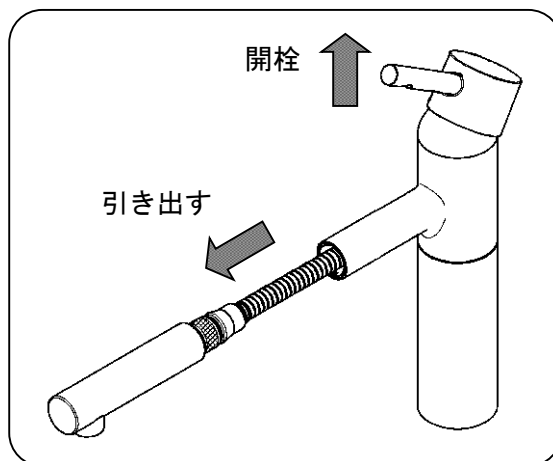
※水抜き操作後は必ず元に戻してください。
 ※逆流防止が別の部分に設置したある場合は、接続アダプター内部の逆止弁を取り外してください。



2. 水栓の操作

- ①逆止弁が取り外してあるか確認してください。
 （寒冷地用には逆止弁は付属していません。）
- ②屋外の給水栓を閉じ、不凍栓を開放してください。
- ③水栓の開閉レバーハンドルを湯水の中央位置で開栓してください。
- ④ハンドスプレー（ノズル）を引き出してください。

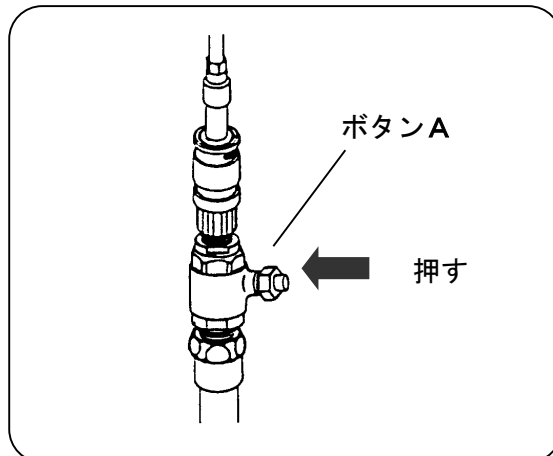
※水栓内の水は配管へ流し、ドレンバルブ等で開放してください。
 ※冬期、水栓内部の水が凍結すると、本体部分および部品が破損する可能性がありますので必ず水抜きを実行してください。
 ※水抜き操作後は必ず水栓の開閉レバーハンドルを閉栓してください



3. ホース逆止弁の操作（寒冷地用）

- ①キャビネット内で水栓下部のカップリングと水抜用ホースの連結部にある逆止弁のボタンAを押しこんで、水が抜けるように逆止弁を開放してください。

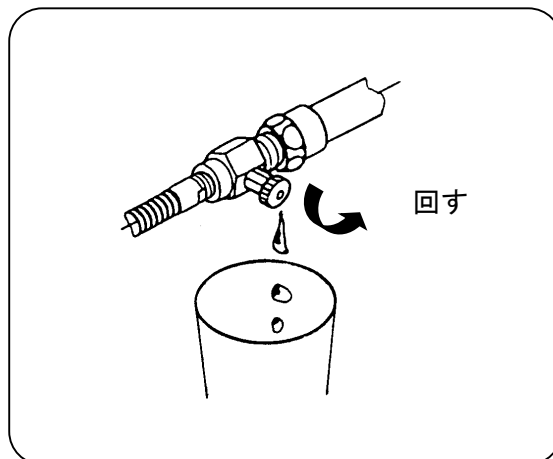
※ボタンAは、再通水すると自動的に元の状態に復帰します



4. 水抜栓の操作（寒冷地用）

- ①キャビネット内で水栓下部の水抜用ホースとホースの連結部にある水抜栓のツマミを手で左に回してください。
- ②キャビネット内を濡らさないように、コップ等で受けながらホース内部の水を受けてください。

※水抜きは桶などの水受けを用意してから行ってください。
 ※水抜栓は水抜き後、必ず右に回して閉栓してください。
 ※水抜栓は水抜き以外の目的では使用しないでください。



ご使用方法

1. 開閉レバーハンドル

●開閉及び水量調整

本体上部の開閉レバーハンドルを上下に操作することにより、バルブの開閉及び水量調整を行うことができます。

- レバーを上にあげて → 吐出が始まります
- レバーを下にさげて → 吐出が止まります

※約30°で全開です。

●温度調整

開閉レバーハンドルを左右に回すことにより、湯水の供給量の割合を変化させ吐水温度の調整を行うことができます。

レバーの回転範囲は、正面から見て左右に約100°の範囲です。

- 左側に回して → 湯（高温）になります
- 右側に回して → 水（低温）になります

※高温をお使いになるときは、必ず右側へ開閉レバーハンドルを回してからゆっくり左側へ回して、お好みの温度に調整してください。

2. 吐水口（ホルダー）

●首振り

吐水口を正面から見て、左右に約70°回転することにより、首振りを行うことができます。それ以上はストッパーに当たり、回転しません。

※無理に回転させると、配管を損傷し、漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
※エッセンスは、左右に約50°回転

3. ハンドスプレー、ノズル

●ホース引き出し

引き出して使用できます。

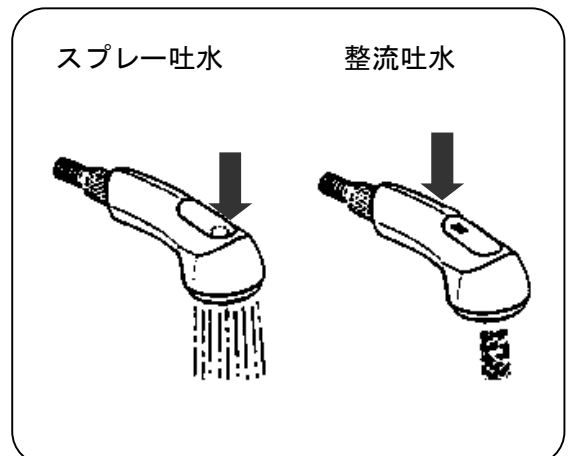
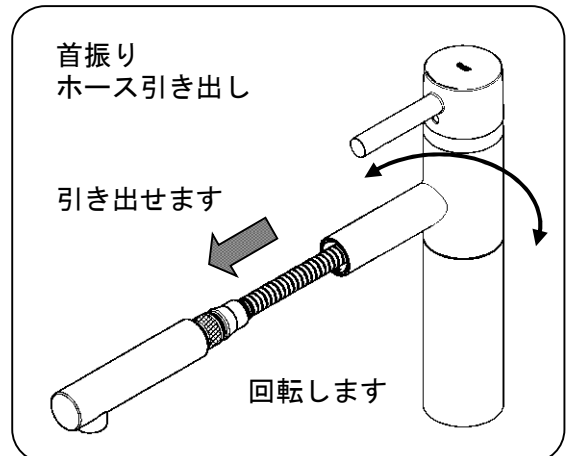
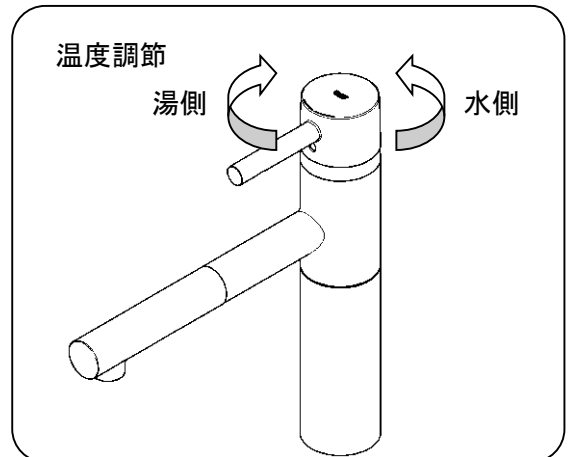
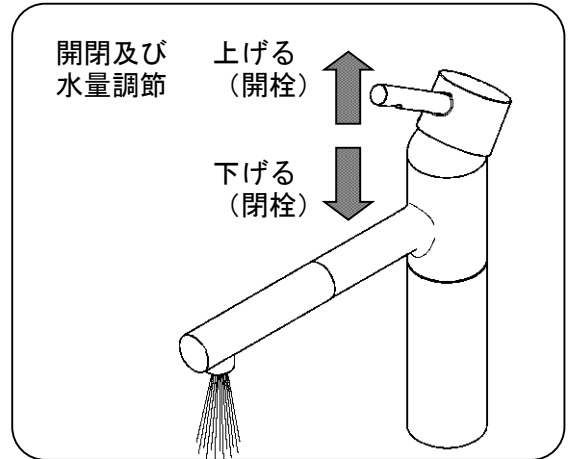
※無理に引っ張るとホースを損傷し、漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●吐水状態の切換（ユーロプラス、ユーロディスク、アリラ）

整流吐水、スプレー吐水に変更可能です。

- ボタンの手前側を押して → スプレー吐水
- ボタンの後ろ側を押して → 整流吐水

※閉栓すると自動的に整流吐水にもどります。
※スプレーで使用中、整流吐水にもどすときは、一度閉栓してからご使用ください。



ご使用上の注意

●ガス給湯器と合わせてご使用の場合

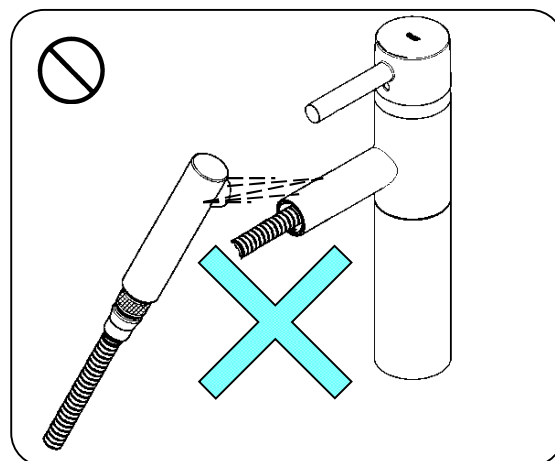
- ◎比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温（使用温度+10℃）にしてください。
- ◎能力切替付きの給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。
※吐水量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- ◎給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。
このときは、給湯器の設定温度(能力切替は能力)を少し上げてお試してください。

●開閉ハンドルの操作

- ◎ハンドル操作は、回転を急激に行わないでください。
※急激な操作をすると水栓または、配管部で音がでたり、吐水温度が急激に変わります。
- ◎混合栓を使用する際は、必ず水から吐水してください。
※熱湯が吐出して熱湯でやけどする恐れがあります。

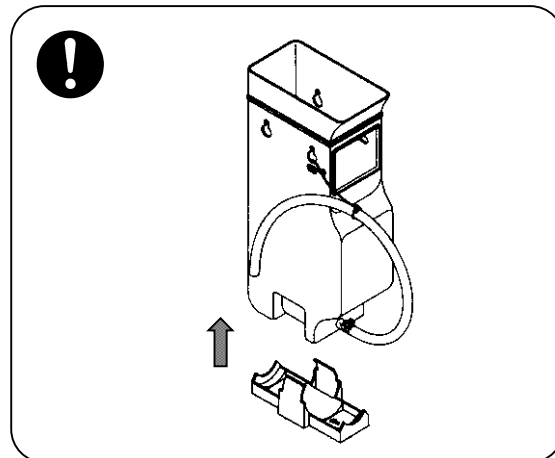
●水かけの禁止

- ◎本体、ハンドスプレー（ノズル）引き出し口および引き出したホース部分に直接水をかけないでください。
※水がキャビネット内に侵入する場合があります。
※水が侵入してもキャビネット内を濡らさないように水受容器を別売で用意しています。
※お手入れに関してはお手入れの方法（P7）をご参照ください。



●水受容器の点検

- ◎時々水受容器を点検し、水が溜まっていれば捨てるようにしてください。
※短期間に容器内に水が溜まる場合は、水栓の故障が考えられますので、販売店、取付工事店、または弊社サービス課へお問い合わせください。



●キャビネット内に物を出し入れする際の注意

- ◎キャビネット内に物を出し入れするとき、給水・給湯管、ホースおよびカップリングに引っ掛けるなど、無理な力が加わらないようにしてください。
※給水・給湯管およびハンドスプレーホースの外れや、破損による漏水の原因となります。

